

令和6年3月11日

保護者のみなさま

高槻市立第六中学校

校長 岩元 優子

令和5年度 高槻市立第六中学校学校評価（自己評価）について

向春の候、保護者のみなさまにおかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。この1年間、本校の教育活動に対して、多大なるご理解とご協力をいただきましたこと、教職員一同心より御礼申し上げます。

さて、今年度の本校の教育活動を振り返り、重点目標についての代表的な取組と今後の対応をまとめましたので、お知らせいたします。学校評議員のみなさまのご意見や、学校教育自己診断アンケートを踏まえ、課題を整理し、今後も改善に努めてまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

1. 教育目標

【学校教育目標】

「やさしさを持って、いきいき、たくましく生きる生徒の育成」
～生徒、保護者、地域、教職員が誇りに思う学校～

【校区めざす子ども像】

- ・進んで学び、考え、行動する人
- ・自分も人も大切にする人
- ・正しい判断で、未来に歩む人

2. 本年度の重点目標、代表的な取組みと今後の対応

(1)「確かな学力」の育成

- ・適切な学習状況の把握から、学習の過程を評価し、学習意欲の向上を図る
- ・学ぶことの意義や社会との関連を実感できる、学習に向かう動機の向上と学び続ける力の育成
- ・学校図書館やICTの活用による学習課題の明確化と思考の深化

代表的な取組と今後の対応

- ・学習指導要領に則り各学年とも目標・年間計画に基づき実施しました
- ・学校図書館の活用を全教科において取組み、資料や情報を適切に活用する能力の育成や、豊かな語彙の習得とそれらを生かした表現方法の工夫に取り組みました
- ・めあてと振り返りを生徒と共有し、学びの積み上げの実感や見通しを立てて学ぶことができるよう授業スタイル「六中スタンダード」を全教科で行い、生徒の安定した学習意欲の向上に努めました
- ・学習の過程を大切に、生徒が授業で発揮した力の何を授業者が見取っているのかを理解できるように学習指導とその評価について明示しながら授業を行いました
- ・校区の小学校とも連携し、9年間を見通した学習について共通理解を図り、授業改善に取り組みました
- ・習熟度別授業、チームティーチング授業、また放課後学習会等の設定により生徒の学習保障に繋がりました
- ・英語のコミュニケーション力の育成を図るためALTを活用しました

【アンケート結果】（パーセントは肯定的回答）

「わたしは、宿題や予習復習などの家庭学習をしている」生徒 73.3% 保護者 69.7%

家庭学習＝宿題ではなく、家庭で一定時間自発的に学習する時間を設ける機会について課題があると考えます。テスト前の放課後学習会や学校図書館の自習室活用など、学びへの機会づくりについて学校も取り組んでいるところです。引き続きご家庭でもご協力をお願いいたします。

「授業に意欲的に取り組んでいる」 生徒 89.4%

「わかりやすく楽しい授業が多い」 生徒 81.5% 保護者 68.7%

「教え方や教材を工夫している先生が多い」 生徒 92.2% 保護者 74.7%

探究的学習が増え、自ら課題を見出しその解決や改善に協働で取り組む授業について、生徒には広く浸透しているように感じています。また、保護者の方への授業内容の発信方法についても工夫が必要だと感じています。

意欲的に取り組もうとする生徒の姿勢に対し、その授業内容が生徒の期待にそえていない場面もあると数値の差から感じられます。授業担当者は一層授業改善に取り組みます

【学校評議員より】

- ・豊かな語彙の形成に力を入れてほしい。言葉が豊かになれば人間関係が円滑になり、人を傷つけることが少なくなる。今年度の図書館教育の充実はその実践に役立つ取組であるので、効果も教職員間で共有し、今後も生かしてほしい
- ・学習委員が自主学習や個人の学びについて考え、情報発信している点がよい

(2)「豊かな人間性」の育成

- ・違いを認め合いながら一人ひとりが大切にされている実感を得られる機会の設定
- ・他者に対する自身のあるべき姿や協働の姿勢について学ぶ

代表的な取組と今後の対応

- ・すべての生徒にとって安全安心に過ごせる居場所づくりとして、特別活動での話し合い活動やクラスミーティング、道徳での気づきの共有など、一人ひとりの考えや意見を受け止める機会を設けながら、仲間に対する理解を深める取組をしました
- ・生徒指導事象が生じたときは、迅速で組織的な対応を心掛け、事象の指導だけでなく、自身の生き方を深く思考する指導を心掛け、再発防止に取り組みました
- ・生徒指導は未然防止の観点で取り組み、日常の効果的な声掛けを行いながら、教職員が生徒の変化に気づく機会を多く設定し、交流を行いながら、教職員の資質向上と、生徒が安心を実感できる環境づくりに尽力しました
- ・地域ボランティア活動に参加し、協力や支えあい活動を通じ、自他を大切にすることを育みました
- ・校内体制を基盤に校区幼稚園、小学校、教育委員会やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等関係機関とも連携を図り生徒の適切な対応に努めました
- ・生徒会活動における「You are good」等の運動を通じて、他者とのあたたかなかわりを実感する取組を行いました
- ・あいさつ運動を継続して実施し、基本的生活習慣の確立をめざし、また保護者のみなさまや地域の方々、生徒会執行部をはじめとする生徒たちの交流の場を設けました
- ・総合的な学習の時間で、自身が生活する地域について学び、よりよい他者との共生について理解を深めました

【アンケート結果】（パーセントは肯定的回答）

「学校では、命の大切さ、社会のルールやマナーについて学ぶ機会がある」 生徒 96.8% 保護者 89.4%

「学校では、お互いの人権を大切にすることを学ぶ機会がある」 生徒 94.6% 保護者 89.9%

「学校では、生活規律や学習規律などの基本的習慣についてきちんと指導されている」 生徒 93.3% 保護者 86.8%

「学校では、自分の生き方や将来について考える機会がある」 生徒 92.0% 保護者 80.8%

学校のめざす教育について生徒に実感できる場面が増え、その結果生徒の高い肯定的回答を得ることができました。保護者のみなさまには、学校からの発信について一層努力が必要だと感じています。

【学校評議員より】

- ・今後も「感動体験」の積み重ねをお願いしたい。子どもが自ら企画運営する取組は、社会を生きるための必要な資

質である

(3)「学校におけるいじめ防止対策」について

いじめ防止対策に則り「いじめは、どの子にも、どの学級においても起こりうることであり、かつ人命にかかわる重大な問題である」ことを認識し、学校組織として未然防止、早期発見、早期対応に努める

代表的な取組と今後の対応

- ・週一回、授業内に生活会議を設定し、いじめ・不登校対策について、情報及び方針の共有と交流、経過報告を行いました
- ・「意識調査」(生徒向け)を年3回実施し、課題の深刻化を防ぐための見守りや聞き取りを行いました
- ・教育相談を定期的実施し、教員と生徒の信頼構築に努めました
- ・生徒会による学年独自の取り組みにより、互いに認め合う環境の整備と仲間を思いやる態度の育成を図りました

【アンケート結果】(パーセントは肯定的回答)

「学校へ行くのが楽しい」 生徒 86.9% 保護者 78.7%

「クラスは居心地がよく楽しい」 生徒 85.8% 保護者 77.5%

「悩み事などに相談にのってくれる先生がいる」 生徒 85.8% 保護者 74.0%

「先生はいじめなど私たちが困っていることに対応してくれる」 生徒 89.2%

「子どもの悩み事などの相談に乗ってくれる先生がいる」 保護者 74.0%

「学校ではいじめ防止について考える機会がある」 生徒 91.8% 保護者 84.3%

「学校ではお互いの人権を大切にすることを学ぶ機会がある」 生徒 94.6% 保護者 89.9%

学ぶ機会について、生徒の認識は高く、その大切さを理解している様子がうかがえます。しかしながら、肯定的意見が高いとはいうものの、一定数の生徒については不安を抱えていることも数値から想定できます。今後も生徒一人ひとりに寄り添った姿勢を堅持し、いじめの起こらない集団作りを進めてまいります。

保護者のみなさまには、学校での様子が分かりにくい状態であるため不安を抱えている方がいるように思われます。引き続き「生徒指導だより」等での発信に努めてまいります。

【学校評議員より】

- ・いじめに対する姿勢や、チームとして取り組む姿勢を評価する。保護者への発信も増やし、より信頼される学校になるよう努めてほしい

(4)「健やかな心身」の育成

学校生活全般を通して基礎体力、運動能力の向上を図りながら、健康的な生活行動ができる態度・能力の育成

代表的な取組と今後の対応

【体力・運動能力の改善】

保健体育の教科指導の向上について教科担当者同士による検討を行い、生徒の体力向上に努めました
体育祭等主体的に運動する機会を工夫し、体力の維持に努めました

【健康・衛生管理・食育】

給食理事、養護教諭を中心に生徒の健康管理における啓発や周知を行い、また情報の共有を通して生徒の健康管理に努めました

給食が安全で適切に実施されるようアレルギー等の配慮や指導を行いました

お弁当の日を実施し、食の大切さや知識、食を選ぶ機会を設け、自立に向けた生活力の育成に努めました

【避難訓練・防災教育】

「たかつき安全 NOTE」を活用した授業を実施し、安全について意識を高めました
 年2回の避難訓練と年1回の不審者対応訓練を実施しました
 避難訓練時の生徒の振り返りについて発信及び回答を行い、知識の深化に努めました
 学校施設の安全管理として、月1回全教職員で校内の安全点検を実施したり相互点検をしたりするなどして、校内の違和感に敏感に反応できるよう努めました

【アンケート結果】（パーセントは肯定的回答）

「学校では、健康管理や体力づくりに取り組んでいる」 生徒 93.8% 保護者 83.1%
 「栄養バランスを考えた食事をとることは大切だと思う」 生徒 97.8%
 「子どもと食に関する話をしている」 保護者 84.9%
 「学校では、定期的に避難訓練や防犯訓練が実施されている」 生徒 94.2% 保護者 93.5%
 避難訓練の実施については69.1%（R3）88.3%（R4）94.2%（R5）と大幅に肯定的回答が増えました。避難訓練の内容を見直し、より自分事として考える機会を設けたことが結果として表れているように感じています。
 今後も有事の際に適切に行動できる知識の向上をめざし、安全教育に取り組んでまいります

【学校評議員より】

・安全に関する取り組みなどを評価する。今後も子どもたちの安全安心に配慮した学校運営をお願いしたい

(5) 信頼される学校づくり

- ・地域や関係機関と協働する環境づくりの推進
- ・地域行事への積極的な参加
- ・幼小中の連携の緊密と、保護者・地域との連携も生かされる信頼される学校づくりの推進

代表的な取組と今後の対応

【情報発信】

「学校だより」をはじめとする発行物をはじめ、ホームページによる教育活動の内容の発信に努め、緊急時にはメールでの発信を行いました

【幼小中連携】

月1回の校園長会の開催と、定期的に連携責任者会議を開催し、情報交流と課題の精査を行い、円滑な校区連携を図りました

【地域行事参画】

六中校区秋フェスタをはじめとする地域行事に、生徒たちが積極的にボランティアとして参加する機会を設け、地域の方と協働する達成感を学びながら行事の成功に力を尽くしました

【アンケート結果】（パーセントは肯定的回答）

「学校は、教育方針や教育活動についてわかりやすく伝えている」 保護者 85.8%
 「学校では保護者が授業参観や行事に参加する機会を設けている」 保護者 97.8%
 今年度も保護者のみなさまには学校での子どもたちの様子を見ていただきました。学校へ来校せずとも伝えることのできる発信の重要性も理解しながら、それでもお越しいただいてその空気を感じていただくことは、学校へのご理解を頂戴する良い機会と考えています、今後も生徒の健全育成に向け、信頼される学校づくりに取り組んでまいります。

【学校評議員より】

・「受け身にならない子ども」を育てることはとても大切である。地域連携は子どもの成長に良い影響をもたらすので、今後も積極的に取り組んでほしい。地域としても協力していきたい

